

社長のためのお勉強

令和3年4月15日

〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4

株式会社堀口オフィス

TEL 06-6910-6412 :FAX 06-6910-6414

会社の平均寿命は 23.5 年

個人の寿命は「人生 100 年時代」と言われるほど長くなっています。大学を卒業して入社し、定年まで運よく働けると約 40 年間在籍することになります。もし人生 100 年と考えれば、定年したあとの人生は会社に勤めていた期間に匹敵するほど長いのです。

残りの人生は年金だけでは心もとないと、新たな会社で働こうとしても長年、会社のプロとして働いてきた人が、60 歳を過ぎてから新しい会社でゼロからまたその会社のプロになろうとするのは、相当キツイでしょう。会社側も、22 歳と 60 歳なら、柔軟性がありこれから会社のプロになってくれそうな 22 歳の人を採用する可能性は高いです。

じゃあ、どうするか？これまでの考え方とは違う、新しい一步を踏み出した方がいい。踏み出すのは、気づいた「今」からです。

一つの方法が、「仕事のプロ」として意識をチェンジすることなのです。今の仕事をしていてやりがいを感じているなら「今の仕事のプロ」を目指すのです。ただ同程度に仕事ができる人が他にいくらでもいたら、それはプロとは言えません。プロになるにはある程度の経験やスキルは必要になるでしょう。

しかし、少なくとも会社にいながらも「仕事のプロになろう」と意志を持った時点で、「会社のプロ」とは異なる道、新しい一步を踏み出したこととなります。

「会社のプロ」のままだと会社がコケたら自分もコケてしまいましたが、「仕事のプロ」であれば、会社がコケてもこれまで経験してきた「仕事」という武器を携え、自らの力で明日からでも勝負できるはずです。